

科目名: 世界の歴史		科目コード	AA12
科目主査: 長沼 秀明		単位	2
担当講師: 長沼 秀明、三沢 直之、 由川 稔		配当年次	1
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	カラ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 望ましい <input checked="" type="checkbox"/> 不要
<p>従来の「世界史」は、西洋史、東洋史などという枠組みに縛られ、単なる歴史的事実の羅列をしてきた感が強いです。世界の成り立ちを理解するには、一地域、一時代の詳細を知るより、まず全体の体系を把握し、イメージすることが大切です。世界の枠組みは四大文明から世界の諸地域へ、そしてユーラシア大陸、大西洋を経て地球全体に広がり、ついには「近代国家(国民国家)」が誕生します。</p> <p>本科目では、こうした流れに沿って歴史を眺めることにより、既存の世界史とは異なった体系から世界の歴史についての理解を深めます。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
履修の前提となる知識 その他特記事項	<p>初学者向けのスクーリングですが、事前学習は、重要です。テキスト学習では理解できなかった部分をスクーリング受講によって理解できるようにしてください。不明点はマーキングして質問できるようにしてください。</p>		
テキスト	『「いま」を読み解くための世界史』宮崎 正勝(監),池田書店,2013年		
この科目の 到達目標	<p>①人類社会の拡大について「4つのステージ」の枠組みを視点として、世界の歴史の「駆動」「持続」「再編」について理解できる。</p> <p>②様々な問題の原因を歴史的視点から探るとともに、わが国の歴史や文化との関連性について考察できる。</p>		
成績評価 の方法	<p>最終試験の得点および初日に提示する課題を評価対象とします。最終試験の得点を重視します。試験の詳細は授業中に指示します。</p> <p>授業をきちんと聴くことが、とても大切です。重要な点はノートにまとめてください。</p>		
事後学習	<p>日々の新聞の国際面などに掲載されている様々な記事を、テキストを活用しながら読むこと。世界の歴史が、まさに生きた知識として、確実に、あなたのものになることでしょう。</p>		
事後学習の 参考文献	『グローバル時代の世界史の読み方』宮崎 正勝,吉川弘文館,2004年		
スクーリング受講時に用意するもの			
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具			